

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141

17年2月6日

1・26中小業者国会総行動

一月二六日(木)国会総行動が開催され、新潟民商から一一名が参加しました。東京到着後すぐ日比谷公園に集合。そのままお腹ペコペコでデモ行進となりました。少し寒かったものの天候に恵まれ、全国から集まった仲間と元気にエール交換しました。

議員要請行動

中小業者の営業と生活を守る施策の要望について「要請書」を渡し、署名の紹介議員になってほしいことを要請しました。

衆議院第二議員会館は高橋士郎さんを筆頭に六名で行動。

鷲尾英一郎議員(民進党)は留守。

長島忠美議員(自民党)は秘書対応。署名は受け取らず。災害を経験している議員として福島から多くの避難者を受け入れている現状を鑑み原発についてどういう考えか?の問いに本人がいないので答えることが出来ないことと返答。

藤野保史議員(共産党)は本人対応。地域の中小業者の現状を伝えました。国会で安倍首相は質問されたことには答えず、言いたいことだけ言っている。質問時間も二倍になったので、業者の要求について深く質問していくとの事でした。

参議員会館は急遽、細山俊夫さんが森ゆう子議員(自由党)を訪問する事になりました。本人不在でしたが、赤粋一月三〇日号を手に社会保険加入問題を説明すると、後日調べて連絡するとの事でした。

中村勉さんを筆頭に四名で行動。佐藤信秋議員(自民党)は秘書対応。署名は受け取らず。詳しく要望を聞こうという姿勢が感じられませんでした。

石上俊雄議員(民進党)は秘書対応。署名は受け取らなかったものの、感じのいい対応。

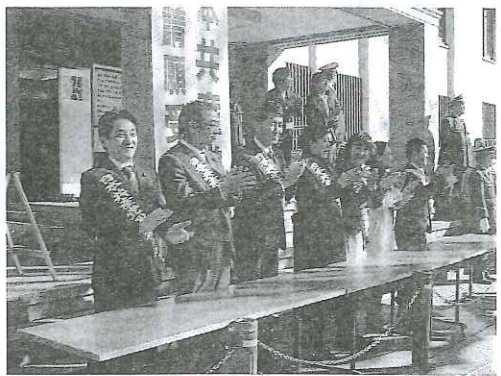
日程

- ・二月六日(月) 税務署交渉
- ・二月七日(火) 常任理事会

参議員選・知事選に続き衆議員選でも野党共闘で協力しましょうと確認しました。土田さんが西村智奈美さんが店にラーメンを食べに来てくれているとアピールしました。

井上哲士議員(共産党)は本人対応。「社会保険加入問題を知らせてほしい」「年金を四〇年納めて月六・七万円。生活保護より悪い」「医療費負担を軽減してほしい」と訴えました。米山知事は火災の被災者への対応が早かった。野党共闘で国民の声を聞く政治にしようと長居してしまいました。

要請行動のあと、議員会館前で集会が行われました。今回初参加は五名。「普段議員さんに会っても握手する程度。議員さんに直接願いを訴えることが出来、それを聞いてくれたことに感動した」と語ってくれました。土田さん(東山ノ下支部)の旦那さんと平野さん(女池支部)が同級生。「竈」さん(山潟支部)はお客さんだよ・・・つながりを再発見した国会総行動でした。



婦人部定期総会・活動報告・番外編

「日本母親大会福井の集会に参加して」

大江山支部 高橋キミ子さん

一月一五日に開催された総会で残念ながら聞くことが出来なかった貴重な報告を掲載したいと思います。

この集会に参加したのは何と、全県の民商参加者のうち私一人だけでした。福井は遠く朝五時半発というのがネックだったようです。

テーマは「再生可能エネルギーへの転換を進め、どうしたら原発のない社会を作れるか」

第一部は伊藤達也さん（原発問題住民運動全国連絡センター）から福島の現状報告。私達がマスコミ等で知っている人口減少・関連死の増加・進まない廃炉や事故処理・子供達の健康問題の数々の他、住民同士・人間関係に深刻な対立をもたらしているというお話には私はショックを受けました。原発事故により地域社会は距離・線量・それにとまなう賠償保障問題で分断され・いわき市の仮設住宅では「被災者帰れ！」等の落書きが頻発。敷地内の自家用車が壊されたり、仮設住宅へのロケット花火打ちこみ事件など・本来みんなが力を合わせて困難を乗り越え、被害をもたらした加害者である東京電力や政府等へ解決を求めるのが当たり前なのに、被害者動詞が対立し、不満・不安・怒りからくるうつぶしが被害者に向けられている。とても衝撃の実態を知りました。

山本貴美子さん（ふるさとと子供の未来を考える敦賀の会）からは日本一原発の多い福井県で長年の反対運動の苦労話・問題点等。上園昌武さん（島根大学教授）からは日本には永久に枯渇しない自然からの豊富なエネルギー資源があり、それらの実用への提案を専門的見地から。山本富士夫さん（福井大学名誉教授）はコーディネーターとして三人の話を検証。「平和的生存権」を守り命を子々孫々に繋ぐためには、放射性物質による健康障害と環境汚染を起させてはならない。し

かし安倍首相は防衛と安全保障を繕う原発推進政策に象徴されているように核武装国家を作ろうとしている。その上で人為ミス・自然災害・軍事テロ等で原発事故は又必ず起こり得るものなので、とても怖いお話でした。

第二部は原発立地県の一四名の方からお話がありました。みんなどこでも巨大な権力の不条理な押し付けにがんばって戦っているんだなあと思いました。

今新潟も米山知事の誕生を機に、柏崎刈羽原発の再稼働を決して許さない運動を広げて行かねばと心から思っています。

話しがはなはな班会

東山ノ下支部

東山ノ下支部は、春の運動の取り組みと確定申告をめざした班会を三方所で計画しました。

二七日の班会は、六名が参加されました。

昨年は、みなさんの応援と市民・野党共闘で、森ゆう子参院議員、米山隆一県知事を実現させ、さらに業者の実態を届けようと、アンケート項目を役員が読みあげて、記入しました。

記入後は、フリートークで、「六五歳になったので個人年金の給付の手続きをしようと思ったら、マイナンバーを要求された。どうすればいいの」「マイナンバーカードが無ければ、記入しなくても受けられるヨ」「今まで

は、融資は簡単に受けられたが、六〇歳を過ぎたら突然保証協会が保証を断ったので、融資できないと言われた」「消費税の税金は、所得税とおなじで経費にはならないと思っていた」など時間オーバーするほどでした。

